

## 事務事業評価表（公共施設）

評価対象年度	平成 25 年度
1次評価日（主幹等）	26年3月27日
2次評価日（課長等）	26年6月12日

1 事業名	川岸公民館管理事業			コード	103214	
2 担当部課	部等	教育部	課等	生涯学習課（川岸公民館）	作成者	田畑 淳
3 事業概要	目的体系	基本目標	生涯を通じて学び、豊かな心を育むまち			
		政策	生涯学習の推進	施策	社会教育の充実	
		予算科目	川岸公民館管理事業費／川岸公民館運営事業費	業務委託	一部委託	
		実施義務	なし（選択的事業）	国県補助	なし	
		設置条例	岡谷市公民館条例			

## ●事業の内容（D0）

4 施設の概要・設置目的	*対象者（誰のため）、意図（どのような状態にしたいのか）		
施設の概要（簡潔に）	生涯学習を通じて幅広い知識を得られるように、市民のニーズに即した学習機会を提供し、生涯学習の充実と公民館の利用促進を図る。また、施設の適切な維持管理を行う。		
目的	対象者	市民	
	意図	市民が集い、学べるように機会と場を提供する	

5 施設の管理運営状況				
指定管理者			25年度指定管理料	円
施設における通常業務	<ul style="list-style-type: none"> <li>●施設の維持管理、運営、備品の管理</li> <li>●施設利用の受付業務（使用申請書の受理許可、減免申請書受理許可、使用料の受理）</li> <li>●各種講座、学級の企画と運営、図書室運営</li> </ul>			
事業の実施内容	<p>（25年度に施設で行った運営事業・自主事業など）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・乳幼児、児童、成人、高齢者の各年齢層を対象とした各種講座を企画運営。</li> <li>・乳幼児、児童の学習の場として、川岸地区の保育園3園・小学校1校にて家庭教育学級を実施。</li> <li>・各学習グループ等の育成及び支援を行い、成果発表の場として川岸地区文化祭（作品展、芸能祭）を実施。</li> <li>・分館活動への支援。</li> <li>・トイレのバリアフリー化工事を実施。</li> </ul>			
前年度の課題への対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・トイレのバリアフリー化工事を実施し、利用者に対して安全性と利便性の向上に努めた。</li> <li>・設備の老朽化については、緊急性の高いものについて対応した。</li> <li>・市民が参加したいと思う講座を企画し、参加者の増加に努めた。</li> </ul>			

6 施設の利用状況	*②・③はどちらかの欄に記入			
区分	23年度	24年度	25年度	26年度(予算)
① 施設稼働率	17.5%	17.5%	15.0%	
年間開設日数（日）	346	343	343	343
1日の開設時間（時間）	13	13	13	13
年間利用可能時間（時間）	4,498	4,459	4,459	4,459
年間利用実績（時間）	787	782	667	
② 年間利用者数（人）	16,183	18,926	16,267	16,350
有料利用者数	1,643	1,408	1,391	1,350
無料利用者数				
減免措置者数	14,540	17,518	14,876	15,000
③ 年間利用件数（件）	0	0	0	0
有料利用件数				
無料利用件数				
減免措置件数				
④ 1日あたり利用者数、件数	46.8	55.2	47.4	47.7
⑤ 施設利用状況の説明				

## 7 コストの推移

\* この事業にかかる費用（人件費は、1人あたり年間800万円で換算）

[単位：円]

区分	23年度	24年度	25年度	26年度(予算)
① 直接事業費	9,988,878	5,277,666	14,414,186	6,330,000
経常経費	5,735,378	5,277,666	5,103,416	5,235,000
臨時的経費	4,253,500	0	9,310,770	1,095,000
* 臨時的経費の説明	トイレバリアフリー化工事、コミュニティ助成事業による消耗品・備品の購入費			
区分	23年度	24年度	25年度	26年度(予算)
② 人件費	8,000,000	8,000,000	8,000,000	8,000,000
正規職員の人数(人)	1.00	1.00	1.00	1.00
③ 合計コスト(①+②)	17,988,878	13,277,666	22,414,186	14,330,000
前年度比		73.8%	168.8%	63.9%
財源内訳	17,365,774	12,722,097	13,714,339	13,583,000
一般財源				
特定財源	623,104	555,569	8,699,847	747,000
* 特定財源の説明	社会教育設備整備事業債、公民館使用料、実費徴収費収入、財産使用料、私用電気料等収入、行政財産管理収入、各種受講料等収入			
④ 施設使用料年間収入額	461,480	429,830	406,160	492,000
⑤ 年間減免措置額	466,625	577,950	453,000	450,000
⑥ 受益者負担割合	9.3%	19.1%	6.0%	14.9%
⑦ 活動一単位あたりコスト	849	702	806	
前年度比		82.7%	114.8%	
⑧ コストに関する補足説明	トイレバリアフリー化工事、コミュニティ助成事業による消耗品(パイプ)や備品購入(長机、展示パネル等)を行ったため、事業費が増となった。			

## ●事業の評価(CHECK)

### 8 妥当性評価

\* 妥当性=行政がこの事業を行う必要性はあるか。

妥当性

高い

評価項目	はい	いいえ
① 現時点で、税金を投入して積極的に関与すべき重要な分野である。	1	
② 民間(企業、NPO、市民団体等)へ委ねることが難しく、市が行う必要がある。	1	
③ 民間(企業、NPO、市民団体等)が行うサービスと類似・競合していない。	1	
④ 国・県の事業、市が行っている他の事業と類似・重複していない。	1	
⑤ この事業の効果は広く市民に還元され、特定者の利益にはなっていない。	1	

### 9 有効性評価

\* 有効性=施設の利用状況(項目6/住民の満足度)は向上しているか。

有効性

低い

評価項目	はい	いいえ
① この事業が属する施策において、この事業の優先度が高い。		0
② 社会情勢の変化や市民ニーズを把握し、事業の内容に反映している。	1	
③ この事業の目的を達成する上で、現在の方法が最も効果的で低コストである。	1	
④ 施設の利用者が増加した。	1日あたり利用者数、件数	前年度比 86.0%
⑤ 施設使用料収入が増加した。	施設使用料年間収入額	前年度比 94.5%

## ●改善の内容(ACTION)

### 10 具体的な課題と改善

課題	(施設の有効活用、施設サービスの向上、利用状況の向上を図る上で、現在課題になっていること)	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設、館内設備、備品の老朽化が目立ち、エレベーターが無いこと、階段の踊り場に段差があること等、利用者にとって使用しづらいことが課題である。</li> <li>利用者の高齢化や固定化が目立ち、解散する学習グループが増えていることが課題である。</li> </ul>	
改善方法	(上記の課題をふまえて26年度以降に実施する、具体的な改善の内容)	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>第一・第二会議室と講堂の暖房機器の入れ替え工事、1階フロアの床カーペット張り替え工事を実施予定。</li> <li>随時、施設の点検を行い、修繕の必要な箇所の早期発見と計画的な修繕を実施する。</li> <li>公民館を学習、情報交換、地域住民との交流の場として利用していただくようアピールし、市民のライフスタイルの多様化に合わせた魅力ある学級、講座作りを行う。また、新規利用者を開拓するために、継続して学びたいと感じられる講座作りを心がける。</li> </ul>	
改善開始時期	平成26年4月	

●次年度の計画 (PLAN)

11 次年度の方針	継続して実施	12 施策評価による26年度の優先度 *H24年度施策評価表より転記すること	B
13 大規模修繕の予定			
予定事業費	713,000	円	予定時期 平成26年7～9月
内容	・第一・第二会議室と講堂の暖房機器の入れ替え工事		